

# 令和7年度 沖縄県産業安全衛生大会開催！

令和7年度沖縄県産業安全衛生大会が、10月10日（金）宜野湾市のラグナガーデンホテルにおいて、沖縄県内の労働災害防止団体等（9団体）による共催、沖縄労働局、沖縄県、宜野湾市及び中央労働災害防止協会の後援で開催され、369名が参加しました。



▲大会長挨拶をする島袋清人大会長

労働災害で亡くなられた方々等に黙祷を捧げた後、主催者を代表して島袋清人大会長（沖縄県労働基準協会会長）の大会長挨拶で開会しました。島袋大会長は、「安全衛生活動に取り組むことは、人材確保や定着率の向上にもつながる。労使一体となって、安全衛生活動を一層促進されますようお願いします。」旨挨拶されました。



▲祝辞を述べる柴田栄二郎沖縄労働局長



▲表彰式

引き続き、来賓の柴田栄二郎沖縄労働局長から「第14次労働災害防止計画の一層の推進をお願いしたい。」旨ご祝辞をいただき、また、公務のためご来席できなかった玉城デニー沖縄県知事からの祝電も紹介されました。その後、沖縄労働局長表彰及び沖縄県労働基準協会会長賞の表彰式が行われ、

受賞者に対し賞状が授与されました。



▲(株) YKKAP 沖縄様



▲(株) 仲本工業様

第2部では、事例発表として、安全関係では(株)YKK AP沖縄の伊藤代表取締役社長より「安全別格」の理念に基づく労働災害防止対策について発表がありました。健康経営では(株)仲本工業の新屋総務経理部総務課長兼安全衛生推進室長代理より『社員の健康が未来を築く力となる』と題し健康経営の具体的な実践事例について発表がありました。



▲特別講演 賀数 仁然氏

特別講演では、琉球歴史研究家でテレビやラジオでも活躍中の賀数仁然氏より『碧き国 琉球のコミュニケーション術』と題し、諸外国との交渉において、琉球王府はその巧みなコミュニケーション術で多くの難局を乗り越えてきた歴史秘話が披露され、笑いと感銘の爽りある時間を過ごせました。

読み上げ、「すべての働く方が安全で健康に、安心して働くことのできる職場の実現を目指す」ことの宣言が満場の拍手をもって採択されました。引き続き、指差唱和を建設業労働災害防止協会沖縄県支部那覇分会の先導により、参加者全員でスローガンを読み上げました。

最後に、(公社)建設荷役車両安全技術協会沖縄県支部の潮平支部長の閉会挨拶をもって、成功裡に閉会しました。



▲全員で指差唱和